

平成24年度 学校法人純美禮学園

事業報告及び決算概要報告について

◆ 沿 革

I 法人の概要

II 学園の法人会議及び監査について

III 各部門の教育推進の概要

IV 決算概要説明

<付 表>

- ・ 資金収支計算書 (第1表)
- ・ 資金収支内訳表 (第2表)
- ・ 消費収支計算書 (第3表)
- ・ 消費収支内訳表 (第4表)
- ・ 貸借対照表 (第5表)
- ・ 財産目録 (第6表)

V 監事監査報告書

【参 考】

- ・ 「学生・生徒・園児数」(平成25年5月1日現在)

法人本部

◆ 沿革

年	月	事	項
大正 7 年	4 月	松村裁縫速進教授所開設	大津市北国町（現 三井寺町）
8 年	4 月	大津裁縫速進教授所と改称	
15 年	4 月	大津市蔵橋町（現 浜大津二丁目）へ教授所移転	
昭和 3 年	4 月	大津裁縫女学校開校	校長に中野富美就任
6 年	4 月	大津高等裁縫女学校に改組	同校専攻科卒業者に対し 小学校裁縫専科正教員無試験検定資格が、県知事から付与される
12 年	4 月	大津市梅林町に新築移転	
19 年	4 月	財団法人純美禮学園に改組	理事長に中野富美就任 滋賀高等女子実業学校と校名変更
23 年	4 月	学制改革に伴い新制高等学校に改組	大津家庭高等学校に校名変更
26 年	4 月	財団法人純美禮学園を学校法人純美禮学園に組織変更	理事長に中野富美就任
36 年	4 月	滋賀女子高等学校に校名変更	
37 年	12 月	滋賀女子高等学校	大津市朝日が丘に校舎新築
38 年	11 月	第二期工事	講堂兼体育館竣工
41 年	3 月	理事長に松村信蔵就任	
43 年	8 月	第三期工事竣工	梅林校舎を廃し朝日が丘に校舎統合
45 年	4 月	滋賀女子短期大学 開学	服飾学科、幼児教育学科の二学科設置 滋賀女子高等学校に普通科新設
47 年	10 月	滋賀女子高等学校	中野富美顕彰記念館竣工
49 年	5 月	滋賀女子短期大学	体育館竣工
51 年	4 月	理事長に原山淑夫就任	
55 年	4 月	滋賀女子短期大学附属幼稚園	開園
56 年	8 月	理事長に中野幹夫就任	
57 年	11 月	滋賀女子高等学校	普通科棟竣工（現 3 号館）
59 年	3 月	滋賀女子短期大学	音楽棟竣工（現 3 号館）
62 年	4 月	滋賀女子短期大学	秘書科新設
63 年	5 月	学園創立 70 周年記念式典挙行	
63 年	10 月	滋賀女子高等学校	第二体育館竣工
平成 3 年	3 月	滋賀女子高等学校	普通科棟増築竣工（新館）
3 年	4 月	滋賀女子短期大学	服飾学科を生活学科に科名変更
6 年	3 月	滋賀女子短期大学	学舎増築（3 号館）
9 年	4 月	滋賀女子高等学校	家政科を生活創造科に科名変更

11年	3月	滋賀女子高等学校	体育館建替竣工（第一体育館）
12年	4月	滋賀女子短期大学	秘書科をビジネスコミュニケーション学科に科名変更
15年	4月	滋賀女子短期大学	幼児教育学科を幼児教育保育学科に科名変更
16年	4月		理事長に松村文夫就任
17年	4月	滋賀女子短期大学	生活学科に製菓衛生師養成校の指定を受ける
20年	4月		共学化に伴い学校名変更 滋賀女子短期大学を滋賀短期大学へ 滋賀女子高等学校を滋賀短期大学附属高等学校へ 滋賀女子短期大学附属幼稚園を滋賀短期大学附属幼稚園へ
20年	5月		純美禮学園90周年記念式典挙行
21年	3月		(財)短期大学基準協会における第三者評価の結果 適格と認定される
21年	3月	滋賀短期大学	生活学科に栄養士養成施設の指定を受ける
22年	1月	滋賀短期大学	生活学科に栄養教諭免許（2種）授与の課程認定を受ける
22年	4月	滋賀短期大学附属高等学校	生活創造科を人間総合科に科名変更
22年	11月	滋賀短期大学附属高等学校	2号館耐震工事完了
23年	10月	滋賀短期大学	ビジネスコミュニケーション学科に日本医師会認定医療秘書養成校の認定を受ける

I 法人の概要

- ・ 設置する学校の概要（平成24年5月1日現在）

学 校 名	学 科	定 員		現 員	
		入学定員	総定員	入学数	総数
滋賀短期大学	生 活 学 科	80 人	160 人	71 人	162 人
	幼 児 教 育 保 育 学 科	170	340	160	335
	ビジネスコミュニケーション学科	100	200	97	211
	計	350	700	328	708
滋賀短大附属 高 等 学 校	普 通 科	200	600	201	551
	(生 活 創 造 科) 人 間 総 合 科	80	240	49	117
	計	280	840	250	668
滋賀短期大学 附 属 幼 稚 園	3 歳 ・ 4 歳 ・ 5 歳 児	60	170	66	199

- ・ 役員・教職員の概要（平成24年5月1日現在）

【役員】（理事10名 監事2名）

理事長	松村 文夫（常勤）	理 事	溪 逸哉（非勤）
理 事	佐藤 尚武（常勤）	理 事	榎 和子（非勤）
理 事	村田千栄子（常勤）	理 事	山本 正史（非勤）
理 事	森島 洋一（常勤）	理 事	山田 義和（非勤）
理 事	高井 八良（非勤）	監 事	山根 重雄（非勤）
理 事	松村 哲夫（非勤）	監 事	馬場 章（非勤）

【評議員】評議員 後藤 俊男 以下21名

【教職員の概要（非常勤外数）】

教 員 92名（72名） 職 員 40名（17名）

<内訳>

短期大学	教 員	30名（67名）	職 員	28名（12名）
高等学校	教 員	48名（5名）	職 員	6名（4名）
幼稚園	教 員	14名	職 員	1名
法人本部			職 員	5名（1名）

II 法人会議及び監査の実施状況

◇ 法人の会議等

<理事会・評議員会>

年度	月日	会議区分	議 題 等
平成24年	5月30日	理 事 会	1. 平成23年度事業報告について 2. 平成23年度決算について 3. 平成23年度監査報告について
	5月30日	評議員会	1. 平成23年度事業報告について 2. 平成23年度決算について 3. 平成23年度監査報告について
	9月14日	理 事 会	1. 滋賀短期大学学則の一部改正について
	12月5日	評議員会	1. 平成24年度予算の補正について
	12月5日	理 事 会	1. 平成24年度予算の補正について 2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について
平成25年	1月29日	理 事 会	1. 滋賀短期大学学則の一部改正について
	3月21日	評議員会	1. 平成24年度補正予算の修正について 2. 平成25年度事業計画について 3. 平成25年度予算について 4. 第3号基本金(滋賀短期大学教育研究充実基金)の組入計画の変更について
	3月21日	理 事 会	1. 平成24年度補正予算の修正について 2. 平成25年度事業計画について 3. 平成25年度予算について 4. 第3号基本金(滋賀短期大学教育研究充実基金)の組入計画の変更について 5. 園長の辞任について 6. 園長の任命について 7. 理事の選任について 8. 評議員の選任について 9. 職員の懲戒について

<常任理事会>

年 度	月 日	議 題 等
平成24年	4月20日	1. 当面の諸課題について (1)経営判断指標について (2)子ども・子育て新システム法案骨子について
	6月29日	1. 平成23年度決算 財務分析から見る現状の経営課題について
	8月29日	1. 滋賀短期大学学則の一部改正について
	10月22日	1. 人事院勧告に基づく純美禮学園給与改定の概要について
	11月30日	1. 平成24年度予算の補正について 2. 学校法人純美禮学園職員給与規程の一部改正について
平成25年	2月22日	1. 平成25年度予算の概要について 2. 人事異動について

◇法人の監査等

年 度	月 日	内 容 等
平成24年	4月6日	期首監査(公認会計士)
	5月17日 18日	平成23年度会計決算監査
	5月18日	学園監事による公認会計士からの意見聴取
	5月23日	学園監事監査
	7月17日	中間監査(公認会計士)
	9月18日	中間監査(公認会計士)
	10月12日	滋賀県総務課による現地調査
	10月24日	日本私学振興・共済事業団による借入事業実地調査
	11月26日	中間監査(公認会計士)
	11月27日	日本私学振興・共済事業団による平成23年度補助金実施状況等調査
平成25年	2月15日	中間監査(公認会計士)

Ⅲ 各部門の教育推進の概況

< 短期大学 >

1. 第3次中期目標・計画による教育研究の推進

第3次中期目標・計画(平成24年度～26年度)の策定に基づいて教育研究を推進させ、年度末には平成24年度の点検・評価により進捗状況を確認するとともに、新たな項目を追加するなどにより次年度に向けて中期目標・計画を整備している。

(1) 管理運営の整備について

- ・教学運営体制として、各種委員会及び各種センター規程を整備した。
- ・危機管理体制として、全ての委員会に副委員長を、全てのセンターに副センター長を置いた。また、入試委員会における監査等のチェック機能を見直し、入試業務を整備した。
- ・自己点検・評価体制として、短期大学基準協会の新たな評価基準に向けて準備した。関連して、第三者評価への対応としてPDCAサイクルの導入に向けて試行した。

(2) 教育体制の充実に向けて

- ・カリキュラム・ポリシーを点検し、生活学科及び幼児教育保育学科では一部を修正した。
- ・資格や免許取得に関わっては、学科またはコースごとに指導を強化した。
- ・資格試験等の合格率アップには、学科またはコースごとに対策講座等を実施した。
- ・キャリア教育は、前年度に引き続き全学的に実施した。関連して、基礎学力の向上に向けての準備体制を整えた。
- ・ディプロマ・ポリシーを点検し、幼児教育保育学科では一部を修正した。併せて、達成状況を評価する手だての検討を始めた。
- ・授業評価に関わって、学生による授業アンケートを実施するとともに、教員による相互授業参観を実施し、授業改善への取り組みをした。
- ・アドミッション・ポリシーを点検し、生活学科では一部を修正した。
- ・各種入学試験の募集人員、点数配分、試験方法等を点検し、改善に向けて整備した。

(3) 学生支援の充実に向けて

- ・学内禁煙措置に向けて、禁煙指導を強化した。
- ・スポーツ活動や文化活動の優秀者に加え、学業優秀者への学長賞の授与を検討した。
- ・就職支援に対する「すみれカレッジジョブカフェ」に就職コーディネーターを週3日配置した。また、新卒者のハローワークの窓口を週1回開設した。
- ・就職支援講座を1回生後期と2回生前期に開講し、就職活動に直結した内容を設定した。
- ・就職ニーズの把握のもとに、就職コーディネーターの企業訪問により求人開拓をした。
- ・4年生大学への進学を支援するなかで、「進学セミナー」などの開催を検討している。

2. 特任教員制度の活用

教育目標の実現に必要な人材を確保するために特任教員制度を活用し、平成25年度に向けては、専任の特任教授4名(3名:継続、1名:新規)、特任准教授1名(継続)、特任助教1名(新規)、特任助手3名(継続)を採用した。また、非常勤の特任准教授2名(継続)、特任講師1名(新規)を採用した。

3. 他大学との包括協定と地域連携による教育研究の推進

滋賀大学および滋賀医科大学との包括協定により、平成24年度も教育事業を相互協力のもとに実施した。これらの実績をふまえ、地域との連携による教育研究をより推進するために、平成25年1月に地域連携教育研究センターを設置した。地域の教育文化や産業等との連携による教育研究等に対して組織的に取り組むため、新たな教育研究支援体制の基盤を整備した。

4. 国際交流の促進

平成24年8月に、中国の北京市にある海淀区職工大学と姉妹校の提携を締結し、新たな国際交流に向けて具体的な検討を始めた。また、中国からの留学生の受け入れ機関として、11月にはこれまでの実績をふまえて昆山外国倍訓中心と教育交流に関する協定を締結した。

5. 美しい日本語コンクールの開催と図書館の充実

美しい日本語コンクールは、学生を対象に平成19年度から継続されている。平成24年度においても、3部門(朗読・読み聞かせ・エッセイ)において開催した。また、図書館の充実に向けては引き続き整備を図った。

6. カリキュラムの変更等

(1) 生活学科

・専門科目における新設科目 3科目 5単位

(2) 幼児教育保育学科

・専門科目における新設科目 4科目 4単位

・専門科目における廃止科目 4科目 8単位

(3) ビジネスコミュニケーション学科

・専門科目における新設科目 3科目 4単位

・専門科目における廃止科目 4科目 7単位

7. 施設・設備の整備状況

・中庭舗床等バリアフリー化事業 6, 111千円

・空調設備等改修工事 5, 930千円

・視聴覚機器の整備 2, 645千円

・教育用機器・図書の整備等 9, 090千円

8. 学生募集の状況

(1) 平成25年度入学試験状況

・志願者数 429名 (前年度: 395名)

・合格者数 380名 (前年度: 364名)

・入学者数 358名《内男子62名》 (前年度328名《内男子44名》)

(2) 夏のオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 6/30、7/14、7/29、8/19、9/8 (5日間)
- ・参加者 延べ890名 (前年度：838名)

(3) 秋のオープンキャンパス開催状況

- ・開催日 11/10 ※学園祭時に開催
- ・参加者 36名 (前年度：57名)

(4) オープンクラス開催状況

- ・開催日 3/27
- ・申込者 123人 (前年度：111人)
- ・参加者 113人 (前年度：102人)

9. 就職状況 (平成25年5月1日現在)

- ・総求人数 864件 (前年度：762件)
- ・就職率 98.6% (前年度：98.1%)
- ・幼教学科就職者の幼、保、施設への就職率 83.3% (前年度：86.8%)

10. 卒業生の免許・資格等の取得状況

353名

(生活学科88名 幼児教育保育学科156名 ビジネスコミュニケーション学科109名)

(1) 生活学科

- | | | | |
|----------|-----|-------------|-----|
| ・中学校教諭2種 | 2名 | ・フードスペシャリスト | 19名 |
| ・栄養士 | 29名 | ・製菓衛生師資格 | 30名 |
| ・訪問介護員2級 | 10名 | ・栄養教諭2種 | 7名 |

(2) 幼児教育保育学科

- | | | | |
|----------|------|--------------------|------|
| ・幼稚園教諭2種 | 132名 | ・保育士 | 124名 |
| ・児童厚生員2級 | 17名 | ・レクリエーション・インストラクター | 1名 |

(3) ビジネスコミュニケーション学科

- | | | | |
|--------------------|-----|----------|-----|
| ・上級秘書士 | 12名 | ・上級情報処理士 | 6名 |
| ・秘書士 | 77名 | ・情報処理士 | 80名 |
| ・ウェブデザイン実務士 | 12名 | ・医事管理士 | 59名 |
| ・医療管理秘書士 | 53名 | ・訪問介護員2級 | 4名 |
| ・レクリエーション・インストラクター | 13名 | | |

11. 学生援護活動状況

学生相談 延べ相談件数 201名 (前年度：228名)

12. 公開講座の開催

- (1) こどもの講座
- ・ 5講座 延べ開講日数6日 (8/6～8/27) 受講者総数 73名
- (2) ステップアップ講座
- ・ 6講座 延べ開講日数29日 (8/6～11/13) 受講者総数 82名
- (3) 教養講座
- ・ 4講座2日間 (10/16、10/19) 受講者総数 62名
- (4) 滋賀医科大学との共催講座
- ・ 講演 (午前) と調理実習 (午後) (8/4) 受講者数 講演 113名
調理実習 45名

1.3. 研究紀要第37号の発刊

学術論文9編、研究ノート2編、延べ投稿者数17名、印刷部数400部

1.4. 課外活動の実施状況

- (1) 学生団体の結成 (平成24年10月1日現在)
- ・ 団体結成数 23団体
 - ・ クラブ・サークル加入者数 250名 加入率 37.5%
- (2) 主な成績
- ・ 第47回全国私立短期大学体育大会 (8月6日～9日)
 - ソフトテニス女子 団体：優勝 個人：1位・2位・3位
 - バドミントン女子 団体：優勝 シングルス優勝、ダブルス2位・3位
 - バドミントン男子 団体：優勝 シングルス優勝・2位、ダブルス優勝
 - バレーボール女子 3位
 - バスケットボール女子 3位
 - ・ 2012 KDKファッションングランプリコンテスト
 - 京都百貨店協会賞 生活学科2回生
 - ・ 魚のゆりかご水田米を使ったレシピコンテスト
 - 最優秀賞 Kitchen&Kitchen (サークル)

< 附属高等学校 >

1. 学習（体験）活動

ア 福祉体験

1年生が、高齢者福祉施設および保育所・幼稚園にて介護・保育体験学習
2年生人間総合科が幼稚園および本校で保育体験学習
(滋賀短期大学附属幼稚園児との交流)

イ 伝統文化体験

生徒製作浴衣の着付け体験学習、和装の着装の講義と実践。茶道における「客の心得」の体験学習

ウ 芸術鑑賞「カーリーの青春」劇団自由人会

エ 国際理解教育体験活動

1年生全員が、留学経験のある本校教員2名から、異文化の中での体験談を聞き、これからの若者が世界へ羽ばたくことの意義を学んだ

オ フレッシュ講座

教師が得意とする分野や外部講師を招いて、講座（34講座）を開講し、生徒はその中から挑戦したい講座を選び1年間学ぶ。剣舞、よし笛作りと演奏、スポーツ、古代史探訪、語学に関わる学習、検定挑戦、ものづくりなど日常の教科学習では学べない幅広い分野で実施している。

カ スポーツフェスティバル

「学級集団の団結力を高めること、良好な人間関係づくり」を目的として、大縄跳びやリレーなどの競技の他応援合戦を行う。

キ 宿泊体験

4月上旬（年度当初）に1年生は、教師と生徒、生徒相互の人的なふれあいを体験し、集団生活への適応を図ることを目的として、若狭湾青少年自然の家にて2泊3日の宿泊研修を実施。その期間に2年生・3年生は学年に応じた集団生活への適応力を養うとともに、進路学習への意欲を高めることを目的とした校外学習を実施している。

ク 講演（啓発）活動

1年生対象 薬物乱用防止講演 大津警察署 寺元俊子氏
国際理解講演会 留学経験のある本校教員2名から、異文化の中での体験談を聞き、
これからの若者が世界へ羽ばたくことの意義を学んだ
2年生対象 マレーシア観光局 アブドール・ラーマン氏の講演
「マレーシアの文化・風土とマナー」
3年生対象 クラス担任による「進学、就職の不適正質問を見抜く」ロングホームルーム

全学年対象 命の大切さを学ぶ教室「命の大切さ」～少年犯罪で息子の命を奪われて～ 少年犯罪被害者当事者の会代表 武るり子氏
税の教室「私たちの生活と税金」田中税理士事務所所長 田中敏隆氏
「人権講演・人権ライブ」立岡勇一氏による歌とお話
人権共同映画鑑賞「夕風の街・桜の国」

ケ ウォークラリー

3月に1・2年生全員が男子は音羽山山頂から国分へ、女子は石山寺・膳所城趾を歩いて巡り、地元大津の歴史・文化・自然に触れる体験をする。

コ 海外研修

10月上旬に2年生海外研修旅行を実施（マレーシア・シンガポール3泊5日）

サ エコフオスター活動

滋賀県が実施する淡海エコフオスター事業に参加し、毎月1回、校外清掃活動を行う。

シ 防犯ヤングボランティア活動

大津署より委嘱を受け犯罪防止の啓発ビラ配布や自転車の防犯対策点検を生徒会およびフレッシュ講座ボランティア選択者で実施。

ス その他のボランティア活動

- ・第13回社会を明るくする運動フットサルカーニバルに参加（7月28日 7名）
- ・大津サマースクール 演劇同好会出張公演（7月28日市立障害者福祉センター8名、7月31日坂本市民会館7名）

2. 進路指導

- ア ・3年生就職希望者を対象に、キャリアガイダンスを実施。
- ・2年生対象に、進学・就職分野別ガイダンスを12会場で実施。
 - ・2年生対象に、進路講演会「自分に合った進学先の選び方」2会場に分けて実施。
 - ・2年生を対象に大学・短大・専門学校模擬授業を実施。21の大学・短大・専門学校の模擬授業を2講座選択して受講。
 - ・1年生対象に、自ら主体的に将来を考えて進路選択ができるように年間を通して「じぶん未来BOOK」に取り組むとともに進路意識向上講座を実施。
 - ・1・2年普通科Ⅱ類大学見学会

イ 進学特別セミナー（学校内予備校）を3年生希望者を対象に実施。（10,000千円）

ウ 卒業生の進路決定状況

大学	短大	専門・各種	就職	その他	合計
77名	55名	43名	9名	11名	195名

3. 施設・設備の充実

ア テニスコート外周フェンス改修工事	2,100千円
イ 体育館用 折りたたみ椅子400脚の更新	1,953千円
ウ 職員用事務椅子等の取替え更新	743千円
エ 理科実験用器具	1,297千円
オ ICT機器の整備	2,931千円

4. 生徒募集関係

- ◆中学校・塾訪問（滋賀県106校、京都8校、塾320校）年6回
- ア 6月から12月にかけて、生徒保護者対象の学校説明会を開催（4回）
- イ 生徒保護者対象のオープンスクール開催（8月、10月）
- ウ 塾対象の入試説明会2回実施（4月、9月）
- エ 滋賀の私立学校展に参加（イオンモール草津9/1,2 彦根ビバシティ9/8）
- オ 中学校主催入試説明会に参加（18回）
- カ 塾主催の進学説明会に参加（2校）
- キ 中学校教員対象説明会（1回）

		入 試 結 果		(男子内数)	(単位：人)
区 分	専・併	普通科	人間総合科	合 計	
志願者数	専 願	1 0 4 (28)	3 5 (2)	1 3 9 (30)	
	併 願	8 8 7 (383)	1 3 7 (12)	1 0 2 4 (395)	
	合 計	9 9 1 (411)	1 7 2 (14)	1 1 6 3 (425)	
合格者数	専 願	1 0 4 (28)	3 3 (1)	1 3 7 (29)	
	併 願	8 6 9 (372)	1 3 6 (12)	1 0 0 5 (384)	
	合 計	9 7 3 (400)	1 6 9 (13)	1 1 4 2 (413)	
入学者数	専 願	1 0 4 (28)	3 3 (1)	1 3 7 (29)	
	併 願	7 7 (32)	1 2 (0)	8 9 (32)	
	合 計	1 8 1 (60)	3 5 (1)	2 2 6 (61)	

普通科Ⅱ類 志願者数 4 2 8 人 (内男子 1 6 1 人)
 入学者数 4 4 人 (内男子 1 5 人)

5. 体育クラブの活動 (主な成績)

●全国高校総合体育大会出場

バドミントン、バスケットボール、体操 (個人)

●全国高校選抜大会

バスケットボール、バドミントン (単)

●近畿大会

バスケットボール (3位)、バドミントン (単優勝、複2位・3位)、体操 (個人)、陸上競技 (女子走り高跳び)

●国民体育大会

バドミントン

●県内等各種大会結果 (主なもの)

・バスケットボール (女)

春季高校総体優勝、秋季高校総体優勝、近畿新人大会出場 (ベスト8)

・バドミントン (女)

春季高校総体 (団体優勝、単優勝・3位、複3位)、秋季高校総体準優勝

・バレーボール (女)

春季高校総体 (ベスト8)、秋季高校総体準優勝

・ソフトボール (女)

春季高校総体3位、秋季高校総体出場

・陸上競技 (男・女)

春季高校総体 (女子走り高跳び5位)、秋季高校総体出場 (女子800m7位、女子走り高跳び6位)

・体操 (女)

春季高校総体 (個人3位・13位)、秋季高校総体 (個人6位)

・サッカー (女)

春季高校総体準優勝 (合同チーム)

- ・硬式野球部
春季大会（1回戦）、選手権大会県予選（2回戦）、秋季大会（2回戦）、
 - ・バスケットボール（男）
 - ・ソフトテニス（男・女）
 - ・剣道（男・女）
 - ・卓球（男・女）
- } 春・秋高校総体出場
- ・その他 世界トライアスロン選手権大会出場 ASTCアジアトライアスロン選手権千葉大会（ジュニア）優勝、滋賀県スポーツ顕彰受賞（3年男子）

6. 文化クラブの活動

- ・吹奏楽
県高文祭参加、滋賀県吹奏楽祭参加、吹奏楽県コンクール銀賞、
第3回定期演奏会実施
- ・演劇部 福祉施設へ出前公演

< 附属幼稚園 >

1 平成25年度の園児募集の状況

入園希望者数 80人 (H24 81人 /H23 104人 /H22 89人)

入園児数 69人 (3歳児 61人 4歳児 8人 5歳児 0人)

2 教育指導状況 (平成25年度教育課程大綱作成)

- ・ 新教育要領をふまえての保育。全学級チーム保育 (担任2人制) の実施
- ・ 預かり保育の実施
H24年度実績 延べ 3,119人
(H23年度実績 延べ 3,500人)

3 教員の資質向上と研修

- ・ 園内研修会を毎月2回水曜日の午後に実施
- ・ 夏季休業中は、各種他機関主催の研修会へ積極的参加
- ・ 近畿私立幼稚園夏季研修奈良大会教職員参加
- ・ パワーポイント製作・インターネットへの写真UP等パソコン研修
- ・ 大津市中消防署から講師を迎えAEDを使用して救命講習会を行った。
- ・ 園児がきれいな声で歌える歌唱指導について、実践を交えながらの研修
- ・ 短期大学教授との連携をとりながら足裏からの健康管理・絵画指導・和太鼓演奏及び指導
- ・ 食育教育研究などを行った。

4 短大幼児教育保育学科等の学生実習受け入れ等

- ・ 二回生の教育実習 前期 6月4日～8日 14人
後期 9月3日～14日 14人
- ・ 「幼児体育」選択の学生 火曜日4人 金曜日4人が実習
- ・ 後期 ビジコム学科リレーションマネジメントコースの16人が、毎金曜日 預かり保育に実習参加
- ・ 生活学科の学生による「竹の子ご飯」「秋の実りご飯」試食で食育を通して交流
- ・ 幼児教育学科2回生によるワークショップへの参加(預かり保育)
- ・ 中学生 (打出中学2年生・皇子山中学2年生 職場体験学習) や短大附属高(1年生)との交流
- ・ 夏祭り、敬老の日など園行事に、地域や年齢層を広げて、参加を呼びかけ、園児とのふれあいや園庭開放に努めた。

5 施設設備の整備改善

- ・ オーニング取り付け工事 672千円
- ・ 屋根上看板新調取替工事 257千円
- ・ 裏庭ガーデン増床工事 (らいおん組裏) 1,701千円
- ・ 裏庭のり面花壇整備工事 1,276千円
- ・ 遊戯室カーテン工事 233千円
- ・ ピアノの更新 (電子ピアノ2台) 820千円

IV 決算概要説明

【学校法人会計と企業会計】

「学校法人会計基準」に定められた計算書には、資金収支計算書と消費収支計算書および貸借対照表の3種類がありますが、この様式は補助金交付の観点からの表示区分となっているため、一般的によく知られている企業会計の損益計算書や貸借対照表とは異なる点も多くあります。

企業会計は、企業の収益と費用を正しくとらえ、その財務状態や経営成績などを知るためのものですが、学校法人会計は学校の教育研究活動が円滑に行われているか、そのために必要な施設・設備や人員などが整備されているか、また必要な資金・財産が正しく管理されているかを知るためのものとなっています。

「資金収支計算書」は当該年度の諸活動に対応するすべての資金の収入・支出の内容および支払資金のてん末を明らかにします。資金収支計算書は企業会計でいうところのキャッシュフロー計算書であるため、収入には借入金収入や前受金収入等が含まれ、支出では借入金返済支出や資産運用支出等が含まれます。

「消費収支計算書」は当該年度の消費収入と消費支出の内容及び均衡状態を明らかにし、学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができます。

「貸借対照表」はある時点（決算日）における資産、負債、基本金、消費収支差額の内容及び残高を示し、学校法人としての資産の保有状況と財政状態を明らかにしています。

【各計算書における主な科目について】

○資金収支計算書、消費収支計算書の共通科目

学生生徒等納付金（収入）	学生生徒から納入された授業料・入学金・施設費等の収入です。
手数料（収入）	入学検定料や証明書発行手数料等の収入です。
寄付金（収入）	金銭等の寄付金で、消費収支計算書では現物寄付金を含みます。
補助金（収入）	国や地方公共団体から交付される助成金です。
資産運用収入	奨学基金の運用収入や預貯金の受取利息、施設貸与の収入等です。
事業収入	公開講座の受講料等、教育研究活動に付随する事業の収入です。
人件費（支出）	教職員等に支給する給与や所定福利費等です。
教育研究経費（支出）	教育研究のために支出する経費です。
管理経費（支出）	総務・人事・経理業務や学生募集活動等、教育研究活動以外の活動に支出する経費です。
借入金等利息（支出）	借入金に係る利息として支出する経費です。

○資金収支計算書のみみられる主な科目

資産売却収入	帳簿残高のある固定資産等の売却収入です。
前受金収入	翌年度以降の諸活動に対応する収入を当年度中に資金収入したもの。具体的には、翌年度入学生に係る学生生徒納付金収入などです。
資金収入調整勘定	資金の収入が前年度または翌年度に行われる収入項目のことで、具体的には「期末未収入金」や「前期末前受金」等です。
借入金等返済支出	借入金に係る返済のため支出する経費です。
施設関係支出	諸活動に使用する目的で取得する土地・建物・構築物等のため支出する経費です。
設備関係支出	諸活動に使用する目的で取得する教育研究用機器備品・その他の機器備品・図書・車輛・ソフトウェア等のため支出する経費です。

資産運用支出	学校法人の資金運用目的による支出です。
資金支出調整勘定	資金の支出が前年度または翌年度に行われる支出項目のことで、具体的には「期末未払金」や「前期末前払金」等です。

○消費収支計算書のみみられる主な科目

資産売却差額	資産売却収入が帳簿残高を超えた場合、その超過額をいいます。
帰属収入	学校法人のすべての収入のうち、負債の増加とならない収入です。借入金や前受金、預り金は負債性があることから除かれます。
基本金組入額	学校法人が諸活動の計画に基づき、必要な資産を継続的に保持するために維持すべきものとして、帰属収入のうちから組入れた金額です。
消費収入	帰属収入の額から基本金への組入額を控除した金額です。
資産処分差額	資産の帳簿残高が資産売却収入を超えた場合、その超過額をいいます。また売却以外で除去損や廃棄損も含まれます。
徴収不能引当金繰入額	前期以前に計上した未収入金で、当期において回収不能と判断した額をいいます。
消費支出	人件費や教育研究経費等、用役の対価に基づく支出額及び、減価償却額等、消費する資産の取得価額に基づく減少額をいいます。

○貸借対照表にみられる主な科目

固定資産	貸借対照表日後1年を超えて使用する資産をいいます。
流動資産	現預金等貸借対照表日後1年以内に使用する資産をいいます。
固定負債	長期借入金等、返済の期限が1年を超えて到来する負債のことで、
流動負債	短期借入金等、返済の期限が1年以内に到来する負債のことで、
基本金	第1号基本金: 学校法人が設立当初に取得した教育用の固定資産や新たな学校の設置・規模の拡大・教育の充実向上のために取得した固定資産の額をいいます。 第2号基本金: 将来取得する固定資産に充てる金銭その他の資産の額をいいます。 第3号基本金: 基金として継続的に保持し、かつ運用することでその果実を教育研究に使用する金銭その他の資産をいいます。 第4号基本金: 恒常的に保持すべき資金の額をいいます。
消費収支差額	当年度以前の各年度の消費収入から消費支出を差し引いた差額の累計額です。消費収支計算書において消費収入が消費支出より多い場合は「当年度消費収入超過額」と表示し、その逆の場合を「当年度消費支出超過額」と表示します。

【資金収支決算】

資金収入及び資金支出の合計は、それぞれ2,237,295千円で、予算（補正予算）より、38,393千円減少した。

予算との差異が大きかった科目の主因は次のとおりである。

資金収入の部において、学生生徒等納付金収入2,395千円の減は、学生・生徒数の予算編成積算数と実数との差異及び退学者等によるものと短期大学における幼稚園、保育所実習における実習料収入において、実習先への実習費の支払いを必要としない園が多くあり、学生からの徴収費用を減額したことによるものである。手数料収入2,626千円の減は、高等学校における平成25年度入試における志願者数の見込み減等によるものである。補助金収入5,859千円の減は、滋賀県私立学校振興補助金のうち高等学校の特色教育加算補助の減が主なものである。資産運用収入は4,456千円の増は、特定資産として保持している債権等の運用益等による受取利息収入の増加によるものである。前受金収入11,635千円の減は、高等学校における入学予定者数の減によるもののほか短期大学入学者の入学手続き金の分納による減収である。資金収入調整勘定（期末未収入金）の増は、高等学校及び幼稚園における滋賀県振興補助金のうち特色教育加算補助金の未収である。

資金支出の部において、人件費支出5,012千円の減は積算数値の誤差によるものである。教育研究経費支出22,183千円の減、管理経費8,575千円の減は、計画予算の縮小や経費節減によるもの他、教育研究経費支出の小科目、旅費交通費支出において予定していたセミナーや学会への不参加による減、印刷製本費支出において、業者への発注減による削減等によるものである。管理経費支出の小科目、旅費交通費支出1,225千円の減、保全改修費支出1,501千円の減、業務委託費支出1,224千円の減、賃借料支出1,751千円の減等において予算計上の差異によるものである。設備関係支出1,645千円の減は、教育研究用機器備品支出においては、短期大学における332教室の机、椅子購入価格の減、その他の機器備品支出において、高等学校応接室の空調機の取替を延期したこと等によるものである。資産運用支出53,390千円の増は、次年度繰越支払資金の一部を有価証券にて短期運用したことによる。資金支出調整勘定（期末未払金）8,606千円の増は、経費の支払、補助金の返金、退職金財団掛金等である。

よって、次年度繰越支払資金は、予算額より31,378千円減の587,763千円となった。

【消費収支決算】

帰属収入合計は、1,754,436千円となり、予算より14千円減額となった。

減少した科目は、学生生徒等納付金2,395千円、手数料2,626千円、補助金5,859千円である。一方増加した主な科目は、資産運用収入4,456千円、雑収入4,574千円等である。

基本金組入額の合計は51,286千円で、その内訳は、施設設備関係16,319千円、研修補助基金への積増27千円、短大教育研究充実基金への積増2,170千円、借入金返済による組入32,770千円であり、前年度より32,852千円の組入減となった。帰属収入に対する組入額の比率は2.98%で、前年度の同比率4.8%より1.9%減となった。予算との比較では37,843千円の組入減となった。主な原因は、構築物、教育研究用機器備品の除却等による組入額の減少等によるものである。

以上の結果、帰属収入合計から基本金組入額合計を控除した消費収入の部合計は1,703,150千円となり、予算より37,829千円増加した。

消費支出の部合計は1,639,287千円となり、予算より43,761千円減少した。

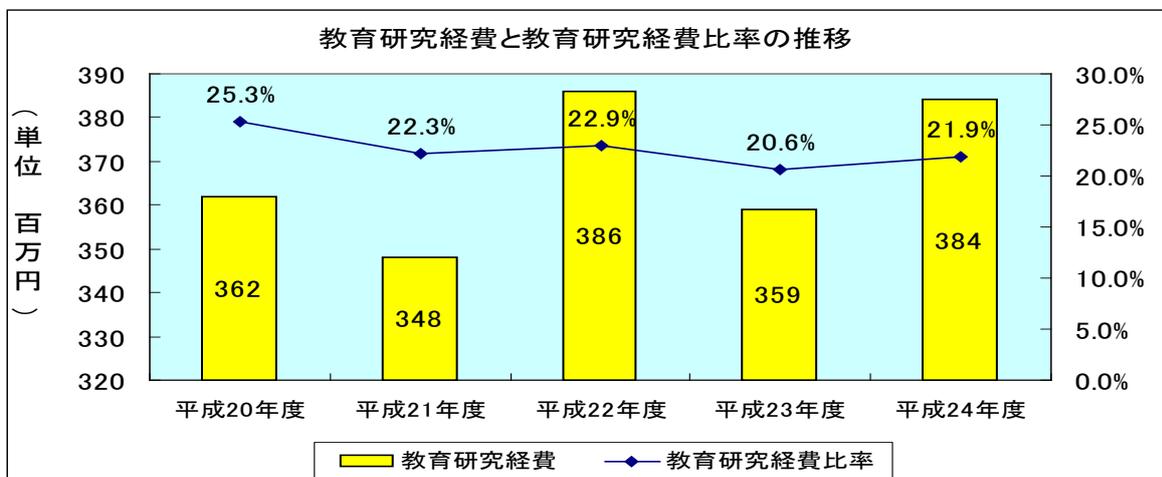
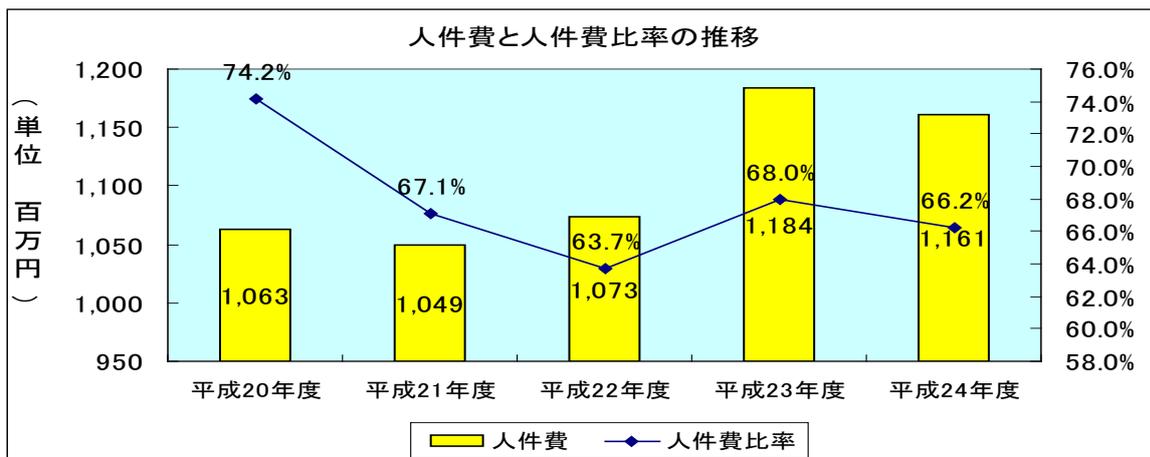
減少した主な科目と減少額は、人件費10,408千円、教育研究経費23,069千円、管理経費8,574千円等である。

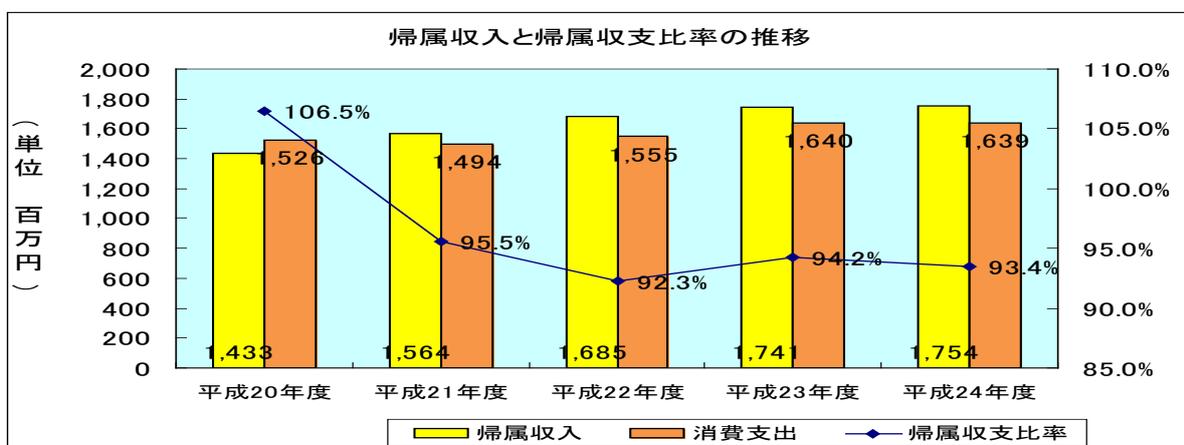
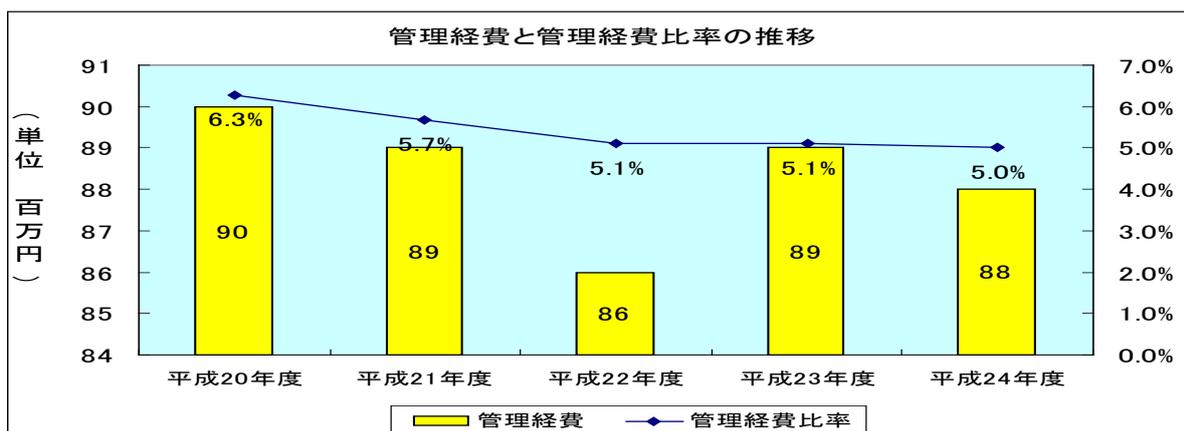
以上により、消費収支差額は、予算額 17,727 千円の支出超過額から 81,590 千円改善して 63,863 千円の収入超過となった。

よって、累積支出超過額は、前年度繰越消費支出超過額 2,028,948 千円が当年収入超過 63,863 千円改善されて、1,965,085 千円となり、翌年度へ繰越すこととなった。

◆◆◆ 主要財務比率の経年比較表 ◆◆◆

比 率	算式 (×100)	平成20年度 (決 算)	平成21年度 (決 算)	平成22年度 (決 算)	平成23年度 (決 算)	平成24年度 (決 算)
人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	74.2%	67.1%	63.7%	68.0%	66.2%
人件費依存率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}$	111.7%	95.3%	97.0%	102.3%	99.2%
教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	25.3%	22.3%	22.9%	20.6%	21.9%
管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	6.3%	5.7%	5.1%	5.1%	5.0%
帰属収支比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	106.5%	95.5%	92.3%	94.2%	93.4%





【貸借対照表】

資産の部合計は5,029,554千円で、前年度末より112,386千円(0.23%)増加した。

その主な要因は「有形固定資産」の建物等の減価償却による減少と「流動資産」現金預金及び有価証券の増加と未収入金の減少等の増減結果によるものである。

その内訳は、**固定資産**は、前年度末より80,137千円の減少と(有形固定資産82,334千円の減、その他の固定資産2,197千円の増) **流動資産**では、前年度末より192,523千円増加による。

負債の部合計は757,587千円で、前年度末より2,763千円減少した。

その主な要因は長期借入金の計画的返済による減少と退職給与引当金、前受金等の増加との相殺によるものである。

基本金は51,286千円組入をした結果、6,237,052千円となった。

<参考>

比 率	算式 (×100)	平成20年度 (決算)	平成21年度 (決算)	平成22年度 (決算)	平成23年度 (決算)	平成24年度 (決算)
流 動 比 率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	98.9%	123.4%	132.7%	157.2%	203.0%

第1表

資 金 収 支 計 算 書

平成24年4月 1日から

平成25年3月31日まで

<総括表>

収入の部

(単位 千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,172,424	1,170,029	2,395
手数料収入	40,849	38,223	2,626
寄付金収入	3,907	4,202	△ 295
補助金収入	432,280	426,421	5,859
国庫補助金収入	142,527	142,527	0
地方公共団体補助金収入	289,753	283,894	5,859
資産運用収入	19,409	23,865	△ 4,456
資産売却収入	774	775	△ 1
事業収入	5,519	5,685	△ 166
雑収入	79,288	79,074	214
前受金収入	288,500	276,865	11,635
その他の収入	184,180	186,913	△ 2,733
資金収入調整勘定	△ 345,917	△ 369,232	23,315
前年度繰越支払資金	394,475	394,475	0
収入の部合計	2,275,688	2,237,295	38,393

支出の部

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,146,383	1,141,371	5,012
教育研究経費支出	288,304	266,121	22,183
管理経費支出	93,521	84,946	8,575
借入金等利息支出	4,755	4,755	0
借入金等返済支出	46,680	32,770	13,910
施設関係支出	11,457	11,457	0
設備関係支出	28,903	27,258	1,645
資産運用支出	6,164	59,554	△ 53,390
その他の支出	46,966	46,966	0
〔予 備 費〕	474		474
資金支出調整勘定	△ 17,060	△ 25,666	8,606
次年度繰越支払資金	619,141	587,763	31,378
支出の部合計	2,275,688	2,237,295	38,393

注：予備費7,500千円の内7,026千円を使用した。

第2表

資金収支内訳表

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

収入の部

<総括表>

(単位 千円)

科目	部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
学生生徒等納付金収入		752,817	372,749	44,463
手数料収入		14,469	23,502	252
寄付金収入		2,567	1,635	0
補助金収入		140,779	242,915	42,727
国庫補助金収入		140,672	1,855	0
地方公共団体補助金収入		107	241,060	42,727
資産運用収入		10,712	8,043	763
資産売却収入		426	302	46
事業収入		680	0	5,005
雑収入		42,771	23,701	11,643
計		965,221	672,847	104,899

支出の部

(単位 千円)

科目	部門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
人件費支出		562,975	444,936	94,232
教育研究経費支出		149,760	94,975	21,386
管理経費支出		54,266	23,755	1,277
借入金等利息支出		658	4,096	0
借入金等返済支出		11,110	21,660	0
施設関係支出		6,804	2,100	2,553
設備関係支出		17,948	8,490	820
計		803,521	600,012	120,268

第3表

消 費 収 支 計 算 書

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

消 費 収 入 の 部			(単位 千円)
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,172,424	1,170,029	2,395
手数料	40,849	38,223	2,626
寄付金	3,907	5,576	△ 1,669
補助金	432,280	426,421	5,859
国庫補助金	142,527	142,527	0
地方公共団体補助金	289,753	283,894	5,859
資産運用収入	19,409	23,865	△ 4,456
資産売却差額	774	775	△ 1
事業収入	5,519	5,685	△ 166
雑収入	79,288	83,862	△ 4,574
帰属収入合計	1,754,450	1,754,436	14
基本金組入額合計	△ 89,129	△ 51,286	△ 37,843
消費収入の部合計	1,665,321	1,703,150	△ 37,829

消 費 支 出 の 部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,171,260	1,160,852	10,408
教育研究経費	407,191	384,122	23,069
管理経費	96,480	87,906	8,574
借入金等利息	4,755	4,755	0
資産処分差額	1,524	1,524	0
徴収不能引当金繰入額	1,000	128	872
〔 予 備 費 〕	838		838
消費支出の部合計	1,683,048	1,639,287	43,761
当年度消費支出超過額	17,727	—	
当年度消費収入超過額	—	63,863	
前年度繰越消費支出超過額	2,028,948	2,028,948	
翌年度繰越消費支出超過額	2,046,675	1,965,085	

注：予備費7,500千円の内6,662千円を使用した。

第4表

消 費 収 支 内 訳 表

平成24年4月 1日から
平成25年3月31日まで

消 費 収 入 の 部

(単位 千円)

科 目	部 門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
学生生徒等納付金		752,817	372,749	44,463
手数料		14,469	23,502	252
寄付金		3,814	1,671	91
補助金		140,779	242,915	42,727
国庫補助金		140,672	1,855	0
地方公共団体補助金		107	241,060	42,727
資産運用収入		10,712	8,043	763
資産売却差額		426	302	46
事業収入		680	0	5,005
雑収入		47,559	23,701	11,643
帰属収入合計		971,256	672,883	104,990
基本金組入額合計	△	32,282	△ 15,124	△ 3,069
消費収入の部合計		938,974	657,759	101,921

消 費 支 出 の 部

(単位 千円)

科 目	部 門	滋賀短期大学	滋賀短期大学 附属高等学校	滋賀短期大学 附属幼稚園
人件費		576,935	450,717	93,610
教育研究経費		212,291	143,317	28,514
管理経費		55,875	24,277	1,277
借入金等利息		658	4,096	0
資産処分差額		1,082	441	0
消費支出の部合計		846,841	622,848	123,401

第5表

貸借対照表

平成25年3月31日

(単位 千円)

科 目		年度等		増	減
		平成24年度末	平成23年度末		
資 産 の 部	固定資産	[4,282,554]	[4,362,691]	[△	80,137]
	有形固定資産	(3,038,931)	(3,121,265)	(△	82,334)
	土地	333,352	333,352		0
	建物	2,168,110	2,242,973	△	74,863
	構築物	61,322	56,141		5,181
	機器備品	203,198	217,226	△	14,028
	図書	268,914	266,366		2,548
	車輛	4,035	5,207		1,172
	その他の固定資産	(1,243,623)	(1,241,426)	(2,197)
	引当特定資産	1,242,877	1,240,680		2,197
	電話加入権他	746	746		0
	流動資産	[747,000]	[554,477]	[192,523]
	現金預金	587,763	394,475		193,288
	未収入金	107,275	157,760	△	50,485
	有価証券	50,000	0		50,000
	貯蔵品他	1,962	2,242	△	280
	資産の部合計 (A)	5,029,554	4,917,168		112,386
負 債 の 部	固定負債	[389,538]	[407,615]	[△	18,077]
	長期借入金	205,390	238,160	△	32,770
	退職給与引当金	184,148	169,455		14,693
	流動負債	[368,049]	[352,735]	[15,314]
	短期借入金	46,680	46,680		0
	未払金	23,707	22,066		1,641
	前受金	276,865	260,830		16,035
	預り金	20,797	23,159	△	2,362
	負債の部合計 (P)	757,587	760,350	△	2,763
基 本 金 (C)	6,237,052	6,185,766		51,286	
消 費 収 支 差 額 (G)	△ 1,965,085	△ 2,028,948		63,863	
(P) + (C) + (G)	5,029,554	4,917,168		112,386	

第6表

財 産 目 録

I 資産総額	5,029,553 千円
内 基本財産	3,031,576 千円
運用財産	1,997,977 千円
II 負債総額	757,586 千円
III 正味財産	4,271,967 千円

区 分	金 額
資 産 額	
1 基本財産	3,031,576 千円
土地	44,401 m ² 330,033 千円
建物	25,841 m ² 2,168,110 千円
図書	102,049 冊 268,914 千円
教具・校具・備品	18,794 点 203,198 千円
その他	155 点 61,321 千円
2 運用財産	1,997,977 千円
現金預金	587,762 千円
積立金	1,242,877 千円
有価証券	50,000 千円
その他	117,338 千円
資 産 総 額	5,029,553 千円
負 債 額	
1 固定負債	389,537 千円
長期借入金	205,390 千円
その他	184,147 千円
2 流動負債	368,049 千円
短期借入金	46,680 千円
その他	321,369 千円
負 債 総 額	757,586 千円
正味財産 (資産総額 - 負債総額)	4,271,967 千円

V 監事監査報告書

平成25年5月22日

監査報告書

学校法人純美禮学園
理事長 松村 文夫 殿

学校法人 純美禮学園

監事 山根南雄 
監事 馬場 章 

私たちは、私立学校法第37条第3項及び学校法人純美禮学園寄附行為第14条の規定に基づき、学校法人純美禮学園の平成24年度（平成24年4月1日から平成25年3月31日まで）の学校法人の業務の状況及び財産の状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

1 監査の方法の概要

理事会に出席し、理事、法人事務局等から業務の執行状況を聴取するとともに関係資料を閲覧し、業務及び財産の状況を監査しました。また、公認会計士原田九兵衛氏並びに山本智三氏の両人から監査状況の報告を受けるとともにそれらを参考として計算書類等に検討を加えました。

2 監査の結果

- (1) 学校法人の業務に関する決定及び執行は適切であり、不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 学校法人の財産に関する不正の行為又は法令若しくは寄附行為に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 財産目録、貸借対照表、収支計算書及び事業報告書は、法令及び寄附行為に従い正しく示しているものと認めます。

以上

<参考資料>

◆「学生・生徒・園児数」<平成25年5月1日現在>

◇滋賀短期大学

学 科 \ 年 次	1	2	計
生 活 学 科	80	69	149
幼児教育保育学科	184	151	335
ビジネスコミュニケーション学科	94	91	185
計	358	311	669

◇滋賀短期大学附属高等学校

学 年 \ 学 科	1	2	3	計
普 通 科	181	197	176	554
人間総合科	45	44	37	126
計	226	241	213	680

◇滋賀短期大学附属幼稚園

\ 園 児 数	3歳児	4歳児	5歳児	計
園 児 数	61	66	69	196